

国史跡鈴木遺跡保存活用計画(素案)に対するパブリックコメントの実施結果

1 実施の概要

実施期間	令和4年8月26日(月)～令和4年9月25日(日)	
提出件数	40件(7人 市内在住 40歳代2人、60歳代1人、70歳代1人、 80歳代1人、年齢不明2人) 1団体(市内で活動する法人または団体)	
提出の方法	持参	—
	送付	—
	ファクシミリ	2件
	メール	33件
	市ホームページ	5件

2 意見に対する対応状況(のべ数)

反映済み	3件
反映する	—
反映しない	—
参考意見	36件
その他	1件

3 意見等への対応

No	該当箇所	ご意見	市の考え方	対応
1	第6章 保存	我が家は「C地区」にありますが今後指定を目指す「B地区」にしてほしい。	本計画第6章第2節1・2項(57、58ページ)で示していますように、C地区については、周知の遺跡として保護に努めるとともに、調査を行い、今後の保護について検討してまいります。	その他
2	第8章 活用	地域に古代人の遺跡があったことに感動と喜びを感じますが、遺跡現物を見ることができず、展示と文だけでは説得力にかける。当時が想像できる小屋を作るなど「見る側目線」「見える化」の推進が必要ではないか。展示室の係が古代の衣装で出迎えたりする場面があれば更に訴求力がアップしPRにつながると思う。当事者から一方通行PRではなく一度立寄った人が知人に声掛けして来場する「人が人を呼ぶ」パターンになるのが望ましい。	幅広い層に鈴木遺跡の存在と魅力を伝えるためには、ご指摘いただきましたとおり、「見る側目線」「見える化」が必要と考えています。いただいたご意見を、今後の保存管理等用地や鈴木遺跡資料館の活用の参考とさせていただきます。 また、「人が人を呼ぶパターン」となるように地域の方々との協働により、鈴木遺跡と資料館を中心としたコミュニティを形成し、市民の憩いの場・交流拠点となることを目指して進めてまいります。	参考 意見
3	第8章 活用	プレハブがもったいない。中も広がっているだけなのでじっくりと見るのにもったいない。博物館的なものにしてほしい。アトラクション・体験ができるものになりたい。発掘キット・黒曜石の模型・レプリカを掘れるなど色々できそう。	本計画第8章第2節2項(65、66ページ)で示していますように、鈴木遺跡資料館を開かれた資料館として、市民団体や地域との共同事業を行うなど、市民活動や地域との連携を深めることにより、鈴木遺跡と資料館を中心としたコミュニティを形成し、市民の憩いの場・交流拠点となることを目指しています。	参考 意見
4	第8章 活用	鈴木遺跡資料館のイメージがある。農林中央金庫の場所をどんな場所にしたいか。どんぐりもたくさんある。子供たちの遊ぶ場所になる。	保存管理等用地については、本計画第8章第2節1項(65ページ)及び第9章第1節2項(68、69ページ)に示していますように、史跡広場として旧石器時代の鈴木遺跡	
5	第8章 活用	落とし穴の中で鹿ジビエが食べられる。ししおとしカフェ。石包丁で料理できる。石器キャンプ場。		

		全国の鈴木さん3万人から寄せ書きを集めて、「鈴木ノ聖地」として鈴木遺跡をPRする(色々なところからこの遺跡に人が集まっていたというイメージも重ねて)	を体感できるような整備を行い、体験型のイベントの開催など楽しみながら旧石器時代を学ぶことのできる場としての活用を目指しています。	
6	第8章 活用	発掘じゃなくて、逆に埋めてもよいなあ。色々な団体とかカップルとかのタイムカプセルが埋められる場所を提供するとかみんなの思い出遺跡。	頂いたご意見は、保存管理等用地におけるイベントの開催等今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
7	第8章 活用	当時の暮らしを体験できるような場所にしたい。		
8	第8章 活用	キャラクターをつくったほうがいい。	幅広い層に鈴木遺跡の存在と魅力を伝えるために、情報発信・周知の方法や文化資源との連携など、様々な方策を検討していますので、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。	参考 意見
9	第8章 活用	誰でもわかるようなマップのようなものを作ったほうがいい(ふるさとむらからなど歩けるマップ)。		
10	第8章 活用	小平でしか食べられないおいしいもの。味で記憶に残る。		
11	第8章 活用	6年間住んでいたけど行ったことがなかった。市民に自然に触れて知ってほしい。 カフェみたいなものをつくって出張カフェみたいなものがあればいい。訪問目的は別だったけど遺跡を知って、別の接点から繋がるのもいいと思う。		
12	第8章 活用	出会い系ですかね。いろいろな背景を持った人が集まる場所にしたい。情報の深掘りができるといい。		
13	第8章 活用	小説や芸術からストーリーをつくれたらいいと思う。		
14	第8章	最近知った文化遺産をもっとも上手に使って町おこしをして	鈴木遺跡の地域づくりや観光につながる活用を推進して	参考

	活用	いるなと思ったのが、愛媛県の大洲城です。お城ステイ！という、誰もが憧れるキーワードで実際に、お城に宿泊して、その日一日城主になれるというものです。1泊2名で110万円ですが、何件も予約が入っているそうです。	まいりますので、今後の取組の参考とさせていただきます。	意見
15	第8章 活用	ちょっと（娘に）確認できなかったのですが、市内の小中学生には広く鈴木遺跡のことを教えているのでしょうか。鈴木小や八小はやっぴいような気がします、市内もっと広くから鈴木遺跡を訪れ、学ぶ機会があると子供心に響くものがあるように思います。私自身、地元の市の遺跡を小学校時代にみんなで訪れるイベントがあり、子ども心に地元へすごいところがあると感動したのをよく覚えています。	鈴木遺跡資料館では、教育普及活動として学校利用を受け入れております。今後、鈴木遺跡を学校教育や生涯学習の場として活用してもらえるように、本質的価値を体感できる環境づくりや情報発信を行うとともに、学校等との連携を図り、積極的な活用に結び付ける仕組み作りを検討してまいります。	参考 意見
16	第8章 活用	遺跡とアートの融合をしたほうがいい。武蔵美をいかすべき。	本計画第8章第2節4項(3)（67ページ）で示していますように、平櫛田中彫刻美術館や武蔵野美術大学とのコラボレーションなど、市が擁する豊富な文化資源と連携したイベント等の実施を検討してまいります。	反映 済み
17	第8章 活用	ICTをフル活用して、VRで体験できる場所にしたい。プロジェクションマッピングなど角川のミュージアムのような異空間体験が良いと思う。	本計画第8章第2節3項（66ページ）及び第9章第2節1項(1)（72ページ）で示していますように、史跡指定地内の整備の制限などもあり、旧石器時代の歴史的環境や景観を効果的に体験できる手段としてAR・VR等のICT技術の利用を検討していきます。	反映 済み

18	第8章 活用	<p>鈴木遺跡凄いですね。今の資料館がとても残念ですので、新しい資料館と施設がとても楽しみです。</p> <p>今回お話された、日本最古の社交場だったことや黒曜石をライトで輝かせる宝石的展示など、魅力的な展示になるといいなと思います。レストランなどもできるのならば、石皿の上のお肉や小平野菜などを、黒曜石のナイフで食べてみたいです。</p> <p>旧石器時代の服装レンタルなどがあると面白いですね。石のベンチ、ナウマンゾウの像などがあるとフォトスポットにもなりそう…</p> <p>プロジェクトマッピングのようにして、当時の狩りの様子を疑似体験するのも楽しそうです。個人的には、木陰と芝生と水遊びできる噴水広場ができると嬉しいです。小平の糧うどんや、グリーンロードや、ふるさと村、平櫛田中美術館、武蔵美見学、テルメ小川の温泉、新しいカフェめぐりなど、鈴木で終わらず、その後も小平を巡ることができるツアーや、交通機関(ブルベバスでも)地域をアピールできる場にもなると思います。</p>	<p>SNS の情報発信における重要性を認知しておりますので、ビューポイントやフォトスポットの設置、市の文化資源と連携したイベントの実施など検討を行っています。</p> <p>いただいた内容につきまして、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	参考 意見
19	第9章 整備	<p>保存管理等用地東側の松、桜は残してください。</p>	<p>本計画第9章第1節2項(4) (69 ページ) で示していますように、植生の復元を行う部分以外では既存樹林・樹木を極力残し、緑の保全を図っていきます。</p> <p>具体的な措置につきましては、現地の状況と整備の内容を踏まえた上で、今後策定予定の整備計画で定めてまいります。</p>	反映 済み

20	第9章 整備	保存管理等用地の整備は、AR・VRだけでなく小規模な調理場でバーベキュー等体験ができると思います。また、小平らしいおみやげ（産品）、鈴木遺跡グッズの売店もあってほしいです。	バーベキューなど火を使った体験学習は、東京都火災予防条例の確認や庁内関連部署と連携しながら検討を行っていきます。 おみやげ屋やグッズについては、今後の取組を検討する際の参考とさせていただきます。	参考 意見
21	第9章 整備	石神井川、谷頭部の2つの谷の再現はうれしいです。	今後策定予定の整備計画においてより具体的な整備の形を定めてまいります。	参考 意見
22	第9章 整備	素案69ページの図25整備イメージ図に記載のトイレ位置の再考をお願いします。 私の自宅は用地の南側に隣接しており、現在の計画ですとトイレが至近距離となり、臭いをはじめとした公衆衛生面および公衆トイレが自宅に近いことでの精神的な不安が拭えません。例えば、北側の水飲み場付近へトイレ移設することで、西側は公園、北側は学校付近につき、用地に隣接する居住者への精神的負担は軽減される可能性もあります。もしくは、公園中央付近にトイレ移設することで、公園内どこからでもアプローチし易く、トイレの利便性が上がることが期待されます。下水管整備なども必要になることもあろうかと思いますが、現在のトイレ位置の必然性が不透明につき、ご再考のほど、よろしくをお願いします。なお、トイレ位置が計画通りとなる場合には、大変お手数ですが、計画通りとなった経緯と理由をご教示頂くことも希望します。	今後策定予定の整備計画においてより具体的な整備の形を定めてまいります。	参考 意見
23	第9章 整備	保存管理等用地の南側に住んでおります。 意見を下に記載します。	鈴木遺跡の適切な保存と活用を図るために、基本的に保存管理等用地、保存区やコゲラの森を中心に指定地の整	参考 意見

		<p>(1) スピード感が全く感じられない</p> <p>こちらに引っ越す前から整備等の計画があるのは知っていましたが、全く話が進展しないことに驚愕です。関係者の中に熱意を持って取り組んでいる人が全くいないのでしょうか？もっとスピード感を持って計画、整備に取り組んでいただきたい。</p> <p>(2) P F I P P Pを用いての人材、資金の調達</p> <p>事業を効率良くスピード感を持って推進するために民間企業の人材、資金、ノウハウを用いてみたらいかがでしょうか？計画立案、調査、整備、運営維持管理を民間で行う事で、トータルで掛かる費用の圧縮、継続的な運営管理が可能となると思われます。</p> <p>(3) デジタル技術活用</p> <p>A Rによる整備地区内での当時の様子の再現、当時の人間の生活様式や行動をタブレットを通して見る事で、学びの一端として面白いのではないかと思います。</p> <p>素晴らしい整備、期待しています。</p>	<p>備を行います。</p> <p>整備は、史跡の本質的価値を維持するための「保存のための整備」と、見学者が本質的価値を理解しやすくする「活用のための整備」に分けられます。</p> <p>本計画第 11 章第 1 節 (77 ページ) で示していますように、各施策の方向性や、方法について段階的に進めていくための実施計画を策定してまいります。</p> <p>本計画第 8 章第 2 節 3 項 (3) (66 ページ) で示していますように、A R・V Rといったデジタル技術の利用を検討してまいります。</p>	
24	その他	教科書に載せて知名度をあげてほしい。そのポテンシャルがある。	<p>現在は、市ホームページによる情報の発信や遺跡ウォーク等のイベントの開催を行い鈴木遺跡の価値や魅力を知っていただき理解を深めていただけるように努めておりますが、今後は大綱に定めましたように「市民とともに守り育む」というコンセプトのもと、市民の方々や鈴木遺跡に興味を持ってくださる方々とともに鈴木遺跡の保存・</p>	参考意見
25	その他	西東京の遺跡の話聞いた。中島飛行機の関係で防空壕を知った。あちこちの市にあるがつながったら面白いかもしれない。		
26	その他	鈴木遺跡は近隣にあるが孫は興味を示さない。地層はとても		

		すごいと思った。	活用を図り、市を代表する文化財として親しみと誇りがもてる史跡となるように努めてまいります。
27	その他	鈴木小学校の水はもともとの水の発祥だよと冗談で話している。それがとても嬉しい。日本でここしかない場所とてもすごい場所。	
28	その他	半年前に旅行をした登呂遺跡はよかった。吉野ヶ里遺跡はテーマパーク化している。登呂遺跡は身近な雰囲気が良かった。鈴木遺跡も人がたくさん暮らしている場所であると思うのでまちづくりに親和性がある。	
29	その他	多摩エリアは辺境の地であるイメージがある。その中で小平市は多摩エリアの中で中央にある、鈴木遺跡も真ん中にあるので鈴木遺跡圏域をブランディングしても面白い。	
30	その他	子どもの頃はよく遊んだ場所で、石器などを拾った記憶がある。自分の家にゆかりのある場所の鈴木遺跡に愛着を感じる。親世代には水車小屋のイメージが強い。	
31	その他	ロマンを一個の石からイメージできる。印象に残ったのがコミュニティを築き始めたのが、一人ではできない狩りなどみんなでできることをしたことがあったことがロマン。今は一人で動くことができるけど、みんなで一つのことをするのがいい。	
32	その他	数年前に鈴木遺跡資料館に行った。その際には雑然としていた。説明もあまりよくなかったが、鈴木遺跡の国指定化を知って感慨深い。	
33	その他	周りに水がなかったからこそ色々な人が集まった鈴木遺跡と、代表的なランドマークやレジャーがないからこそ、マチカ	

		ン（＝トークイベント「まちでカンパイ！こだいら 100 人カイギ」：事務局注）みたいな活動に人が集まってきて面白いものが生まれていく今の小平って、似たような構図だなあと感じました。		
34	その他	国指定史跡になってとてもうれしい。ありがとうございます。		
35	その他	小平はすごいよ！と子どもの頃から思えるような場所にしたい。教科書に載り校外学習で市外からこられるような場所になるといい。荒れないように長い未来に向けた保存がされる場所になったらいいと思う。		
36	その他	子どもたちに「小平って何がある所？」と聞くと「丸ポスト」くらいしか答えがないので、「鈴木遺跡！」と答える子がいるようになるといいなあ、と思います。		
37	その他	3 万年の歴史に責任を持って鈴木遺跡に臨みたいと思います。		
38	その他	<p>国史跡鈴木遺跡保存活用計画の主旨に賛同します。</p> <p>一方、国史跡指定範囲を増やす等、点として鈴木遺跡にだけ着目するのではなく、市長が言われるように知名度を上げるため、より面での展開を意識した取組みにするのはいかがでしょうか。</p> <p>（１）ジオパークの取組みが参考に</p> <p>TV 番組のブラタモリで紹介されているように、多くの地域がジオパークとしての地域の魅力発信を行っています。鈴木遺跡も、新小金井街道から鈴木小学校を見た時の崖の高低差（崖地）からの湧水としてあった石神井川の源流とその変遷が鈴木遺跡の人の営みの栄枯盛衰に大きく関係しています。ジオ</p>		

	<p>パークでは、その地域における</p> <ul style="list-style-type: none">・地質・生物多様性・人の関わり <p>の3点セットで地域の魅力を語り、その魅力を発信する組織を住民が支持することで、地域活性化を図っています。小平市に住む人たちが、鈴木遺跡の価値を地球的史観で認識できるよう発信内容を整理し、小中学校や地域イベントで丹念に発信することを企画してはいかがでしょうか。12層に及ぶ石器の変遷、水源が移動してしまったことによる移住（鈴木遺跡から人がいなくなった）など興味深い話が語れると思います。</p> <p>（2）アクセスの改善</p> <p>国分寺駅からは立川バスで鈴木遺跡資料館に行けますが、小平駅、花小金井駅、一橋学園駅など小平市民の利用が多い駅からはアクセスが困難です。小平市には、平櫛田中彫刻美術館、ガスミュージアムなど他市に誇れる観光スポットがありますが、いずれも不便です。鈴木遺跡資料館も含め、これらのスポットを巡るバスを主要駅から走らせるのはいかがでしょうか。</p> <p>（3）石神井川流域での姉妹遺構提携</p> <p>鈴木遺跡を石神井川の最上流部として、下流では江戸時代に観光地として栄えた豊島区の滝野川や渋沢栄一で有名な飛鳥山、旧石器時代は石神井川下流だったかもしれない台東区谷中のへび道などを姉妹遺構提携して、一緒にアピールするのも面白いと思います。</p>		
--	--	--	--

39	その他	<p>・ 現地の解説や周知方法について</p> <p>プレハブは遺物も遺構も疎で、どうやってもわかりづらい。見る人の楽しさや興味に訴えかける仕掛けが必要ではないか。どのように鈴木遺跡を表現するかの発想を議論いただけたら良い様に思う。集落と書いたから、集落と言うのだ、とかいうのはチラシの裏で終わらせてもらったら良いと思う。往時の風を現場で感じ興味喚起、更に知識に深化させるウェブや展示館、というような多層構造の展示を想定し、それぞれのレベルでどのような展示ができるのかをリストアップしていくのがよいのではないか。現地の AR や VR は、動物や植物なども表現できるとより親しみやすいのではないか。自分視点の AR と、空中視点の VR など併せれば、より、当地の理解が深まるのではないか。ナウマン象が新小金井街道を歩いたり、あるいは、猟から戻る人の姿などの表現も、今と違う過去が見えて楽しいのではないか。不明であったり、諸説あることは、まだわからない点として伝え、表現としてはある時期を大胆に切り取って考察した結果を見せて欲しい。一部だけでも深掘り発掘を行い、その断面を保存し見られるようにしてはどうか。3 万年がどれだけの深さなのか、そして、遺構・遺物がどのように埋まっているのかの理解につながる。解説版なども、発掘された範囲を示されるより、想像したイラスト等の方がより理解しやすい。根拠となる説や遺物・遺構については、ウェブや書物、展示館等でくわしく解説できるのではないか。</p> <p>・ 遺物について</p> <p>細石器、ナイフ型石器、石斧などが実際に利用されているビデ</p>		
----	-----	--	--	--

		<p>オなどがあると良い。石器の分類名よりも、用途を示していただいた方が一般の人にはわかりやすい用に思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での活用 <p>農林中金跡地で小平旧石器祭りを開き、黒曜石の原産地の自治体や、周辺のプレの遺跡を持っている自治体にも出展してもらったりしてはどうか（交易をイメージ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園化について <p>駐車場はあってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究について <p>小平が旧石器研究の拠点となりうるよう、書籍の収集をおこなってはどうか。シンポジウムや学会を誘致してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示施設について <p>整理作業がみられるような展示は楽しい。今の資料館の解説員？の方の熱い解説が生かせるような良い展示施設になって欲しい。研究者を招いた一般向け講演会などをおこなわれてはどうか。</p>		
40	その他	<p>(1) 資料館の運営体制：現在は、水曜日、土曜日等限られているが、全日制オープンとし、ボランティアの活用による説明や周囲のコース巡りを行う。</p> <p>(2) 近隣の3駅からの足の確保として市バスの活用拡大を図り、利便性を向上する。</p> <p>(3) 小、中、高の社会学習を満遍なく行い発表成果につき市長賞を設けて奨励する。</p> <p>(4) 財政面はクラウドファンディングを活用して諸策の実</p>		

		現を早める。		
--	--	--------	--	--